

(様式1)

評価及び取組報告書

令和8年2月3日

平塚めぐみこども園

園長 青木 正子

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

1 取組の紹介

共通メニュー

省資源	省エネ	ごみの減量化
<ul style="list-style-type: none">・コピーや印刷用紙の両面使用・プリントをデジタル化	<ul style="list-style-type: none">・電気をこまめに消す習慣・使用しない電化製品のコンセントを抜く・水の出しっぱなしに気を付ける	<ul style="list-style-type: none">・補充用糊の空箱を再利用・折り紙や画用紙の切れ端を無駄にしない・梱包に使用されたパッキン用紙を再利用・印刷用紙の空箱を再利用

独自メニュー

『ばなし』に気を付けよう！（継続）

電気のつけっぱなし、水の出しっぱなしを園児も教師もみんなで考える

水については出しっぱなしというよりも水で遊ばないを水をとめる基本とする



『再利用』を考えよう！（継続）

教材や事務用品に使用される箱を資源ごみにするのではなく、収納に再利用する



独自メニュー

梱包に使用されるパッキン用紙で製作活動の下敷き



廃材工作のため材料集め



2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： 学校（園）長 教職員 その他（ ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの 決定等について	自分が意識的に電気を消すことを新年度はじめに確認したことで、担当だけに任せるのと異なり日常の一部にしていくことを再認識して気を付けた
D 実施 取組内容や取組方法について、 全員で協力しているか	全員が同じように実施するのは難しいが、実施していることを意識する力は年々増していると思う
C 記録・確認 取組状況を把握し、 確認をしているか	日々の生活では把握しきれていないこともあるが、中心で動く教師の情報発信により把握しきれていなかった部分を補える
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の 取組に活かされているか	教師の節電等への意識は高まってきたが、徹底しきれていないところがあり、もっと意識への働きかけが必要である
その他	

3 1年間を振り返っての感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

「ラーメンカップとかを集めるのは楽しい」と廃材工作のために家庭から持ち寄ることが楽しく、何を作ろうかと期待が膨らんでいるが、家庭から出るゴミの量の多さにも着目し、ゴミを減らすためにできることにも話しているところである。ゴミが出ないと廃材工作はできないし、でもゴミが多くあるのは地球にやさしくないし、「難しい課題」であることを子どもたちなりに認識している。

4 来年度に向けて（見直し結果）

子どもたちによる消灯はなくし、教師が率先して使用していない空間の電気を消すことを徹底していかれるようにしたい。子どもたちが自ら気が付けば消す行為も有効だが、教師によっては徹底されていないこともあるため、まずは教師による徹底をしていきたい。